

いえ
家でもチャレンジ！！「わくわくワーク」

ふうせん
「はずむ風船をつくってみよう」

ざいりょう
材料



- ① ふうせん 風船
くうきい (空気入れがあると便利です) べんり
- ② ビニールテープ
- ③ はさみ



つく かた
作り方

- ① ふうせん 風船を 適度な大きさにふくらませる。

※いろいろな大きさの風船をふくらませて
準備してもおもしろいね。



- ② 右の写真の1～4の手順で、ふうせん 風船に
ビニールテープを1周ずつはる。

ビニールテープの巻き方は参考例です。

ほかの巻き方で、はずみ方が変わるか、
実験してみよう。



つくった風船^{ふうせん}をはずませてみよう！
ドリブルやリフティングがうまくできるかな？

なぜビニールテープを巻くと、
風船^{ふうせん}がはずむようになるの？



物質^{ぶつしつ}が衝突^{しょうとつ}すると、たがいに相手^{あいて}をはねとばしますが、重い^{おも}ものほど、ぶつかった相手^{あいて}を勢^{いきお}いよくはねとばす性質^{せいしつ}があります。

風船^{ふうせん}が空気^{くうきちゆう}中にあるとき、風船^{ふうせん}と空気^{くうき}の粒^{つぶ}は、つねに衝突^{しょうとつ}していますが、風船^{ふうせん}が軽い^{かる}場合は、空気^{くうき}をおしわけて進む^{すす}勢^{いきお}いが小さい^{ちい}ので、ふわふわただようような動き^{うご}をして、床^{ゆか}になかなか到達^{とうたつ}しません。しかし風船^{ふうせん}にテープ^まを巻くと、重^{おも}くなり、風船^{ふうせん}が空気^{くうき}をおしわける勢^{いきお}いが強^{つよ}くなるため、床^{ゆか}にあたるようになります。テープ^まを巻いた風船^{ふうせん}が床^{ゆか}にぶつかると、風船^{ふうせん}のゴム^{だんせいりよく}の弾性力^{ちから}と、中の空気^{なか}がもとに戻^{もど}ろうとする力がはたらい、はずむようになるのです。

テープ^まをたくさん巻いてみるとはずみ方もきっとかわりますね。ぜひ、いろいろためしてみよう！